



こんにちは、岡田よしひでです

2022年6月19日発行
県議会活動報告ニュース
NO.130

自宅 南国市浜改田 430-1
TEL/FAX 865-2932
携帯 090-4337-4527

岡田よしひで事務所 864-2426 南国市駅前町 2-5-11 県議会共産党控室 823-9524 高知市丸ノ内 1-2-20



6月定例会 代表質問 (6月10日)

県議会6月定例会で代表質問

私は10日、日本共産党会派の代表質問に立ち、国民健康保険の保険料について、都道府県での保険料の統一へ国が方針を大きく変更した問題などをただしました。

保険料水準の統一について、被保険者のことを第一に考えてではなく、国費を削減するためと批判。「国保の安定化については、国の負担を削る方向を根本から見直し、思い切った国費の投入が重要」と質問しました。濱田知事は「全国知事会とも連携しながら、必要となる国費の

確保について意見を述べていく」などと答弁。

私は再質問で、「市町村との合意形成ができるまで期限を切らずにしっかり議論をするということが大切だ」と追求しました。濱田知事は、「期限ありきで強引に押し切るということではなく、よく話し合いをして理解を得ながら進めていく」ということで合意形成をはかりたい」と答えました。

また、岸田政権の軍事費を国内総生産(GDP)比2%に大幅に増額する動きについて、ほかの予算削減につながる「国民生活、地域経済を押しつぶす」ことになる指摘。濱田知事はロシアのウクライナ侵攻など国際情勢が厳しさを増す中、防衛力を強化すべきとの声が出ることは理解できるなどと述べました。

私は再質問で、「武力対武力」では際限のない軍拡競争におちいる、紛争を戦争にしない外交がだいじであり、軍事費を二倍化すると社会保障費の削減などにしわ寄せがきて、財政が痛み、暮らしに深刻な影響が出てくると訴えました。

円安、ロシアのウクライナ侵略などにより諸物価が高騰しています。新型コロナウイルス感染症も続いており、県民のいのちと暮らし、営業を守るために県が機敏に対応し支援することを求めました。

くらしと経済、平和が大争点に 小池晃参院議員・書記局長を迎え にひ、松本両予定候補が演説

日本共産党高知県委員会では12日、小池晃参院議員・党書記局長を迎えて高知市中央公園で街頭演説会を開催し7百人が参加。

高知憲法アクションなど市民団体からのメッセージに続いて、にひそうへい元参院議員・弁護士、松本けんじ徳島・高知選挙区予定候補が決意表明。



おむすび通信 (130)

議長、副議長をはじめ自民党県議21人中12人が新型コロナウイルスに感染。危機管理委員会は委員長、副委員長はじめ自民党5人が感染して委員会が成立しない異常事態に。感染者は自民党だけです。感染経路不明としてまともな説明がないまま、仮議長を選出して議事を進めています。原因究明と総括が必要です。